



亀中だより

No.35 令和4年12月19日 文責:岡田

For The Students!

コロナに打ち勝つ亀中のたくましさとともに…

今年も残すところあとわずかとなりました。保護者、地域のみなさまには大変お世話になり、心より感謝いたします。振り返れば、今年もやはり新型コロナウイルス感染症を大きく意識させられた一年でした。第6波、第7波そして今はすでに第8波が来ているといわれます。しかし、この波の間を縫うように、修学旅行、体育祭、文化祭と開催できたことは、本当にありがたいことでした。

中でも文化祭を開催した10月20日という日は忘れがたい日となりました。「青春謳歌」をテーマに掲げ、言葉通り「恵まれた幸せをみんなで大いに楽しみ喜び合うこと」ができました。人との距離とか、黙食とか、コロナは病気そのものだけではなく、我々の人とかかわる場面を奪おうとしてきました。しかし今回の文化祭では、各クラスの取り組みや生徒会のみなさんの活躍、各部の発表や It's a show time での会場の一体感など、全校の取り組みがコロナに勝(まさ)った場面、一日だったように感じました。

生徒会をはじめとする生徒のみなさん、先生方の工夫と努力がなし得たことです。みなさんの「たくましさ」を実感する2学期でした。今年度残された3か月間をさらに充実したものにしていきたいと思います。



今年の漢字 12月12日 清水寺にて

「今年の漢字」が12月12日に『戦』と発表されました。ご存じの方も多いと思います。多くの方がこの漢字を選んだ理由が、サッカーワールドカップなどのスポーツ大会での熱“戦”や野球界の村上選手や大谷選手らの記録への挑“戦”ならばいいのですが、やはり、多くはウクライナ情勢によるところが大きいでしょう。2,3年生のみなさんには、令和3年度の修了式で「人道支援」をキーワードにロシアによるウクライナ侵攻についてお話をしましたよね。その頃はこの話が、こんなに長く続くとは思っていませんでした。電気やガスなどのライフラインがストップしたまま冬を迎えているウクライナの人々…。夏から平和学習にも取り組んできた亀中生のみなさん、今年の漢字が「終“戦”」としての「戦」となることを祈りつつ、今年の締めくくりをしてください。

さて、3学期にはいよいよ目の前に進路実現が迫っている3年生をはじめ、各学年のまとめと4月からの新たなステージへ臨む自分を形作っていく時期となります。教職員一同、気を引き締めて、一人ひとりを大切にしたい教育活動に今一度取り組むことをお約束して、今年の締めくくりとさせていただきます。

みなさまよいお年をお迎えください。来年もよろしくお願いいたします。

学校評価アンケート ありがとうございます!

ご案内いたしました学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。コロナ禍にあっても可能な限りの教育活動をやろうと始まった令和4年でした。職場体験学習など実施できなかったものもありましたが、工夫を重ね、体育祭や文化祭など以前に近い形で開催することもできました。これも学校運営協議会、PTA、同窓会をはじめとする保護者、地域のみなさまに様々な面でご協力いただいたおかげと感謝しております。三学期、そして2023年をさらに有意義なものとし、今年度をしめくくれるよう、いただいたご意見を生かしていきたいと思っております。

今後、学校自己評価としてまとめを作成し、学校運営協議会でも協議していただく予定です。その後学校ホームページでもご紹介させていただきます。ありがとうございました。